

PCSA アクションレポート(依存問題対策プロジェクトチーム)

平成 29 年 10 月版

第 8 回依存問題対策プロジェクトチーム

開催日時 平成 29 年 10 月 28 日（土） 午前 9 時～正午 12 時

開催場所 PCSA 会議室

出席人数 メンバー 7 名、正会員オブザーバー 1 名、合計 8 名

出席者 <リーダー>

辻 良樹 株式会社ダイナムジャパンホールディングス 法務グループ グループ長

<サブリーダー>

荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 監査役

<メンバー>

望月 孝浩 株式会社ダイナム 法務・リスク管理部 リスク管理担当

倉沢 隆志 株式会社ニラク 法務部 法務担当

福島 一実 夢コーポレーション株式会社 運営推進部 オペレーション改革グループ

若林 昇 株式会社キョウサン

武内 好努 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部 課長

<正会員オブザーバー>

佐久間 仁 株式会社ニラク 法務部 グループマネージャー

1) 第 9 回依存問題対策推進会議 開催について

11 月 22 日（水）に開催される予定の第 9 回依存問題対策推進会議の内容について情報を共有した。依存問題対策の「費用分担」と「対策強化」が議題となっており、後者では依存相談窓口の時間延長、それを委託される一般社団法人 RCPG への費用負担、沖縄 RSN への出向社員追加、全商協の電話相談窓口業務費用負担について等が検討されると予測した。また、自己申告プログラムが検討されるかは未定とのことだった。

2) 全日本遊技事業協同組合連合会（全日遊連）訪問について

10 月 20 日（金）に辻リーダーと事務局で全日遊連を訪問。先方の 5 名と全日遊連における依存問題対策会議の構成や開催について説明を受けた。また、安心パチンコスロットアドバイザーの研修 DVD 貸出しが著作権法上難しい事、各都道府県遊協主催の安心パチンコスロットアドバイザー講習会日程は日遊協と情報共有している事なども説明された。

3) 全国版 安心パチンコパチスロアドバイザーの講習会実施予定

2) で話題に上がった各都道府県遊協主催の安心パチンコスロットアドバイザー講習会日程を一般社団法人日本遊技関連事業協会（日遊協）から入手、情報を共有した。ただし、非組合のホール店舗にとっては、都道府県によっては既に開催が既に終了、又は開催はされるものの全日遊連遊連組合員が優先される為に

参加出来ない等の情報を共有した。一方、大手ホール企業が会場の費用を負担する事で自社の都合に合わせた場所や時間での講習会が関東（千葉、東京）で開催された事が報告された。

4) 安心娯楽通信 5号（2017.10.19）について

安心娯楽通信は、リハビリサポート・ネットワーク（RSN）から毎月発行されているホール向け通信。RSN のホームページにアップロードされている。下記の各通信の内容を確認した。

<安心娯楽通信 第4号 2017.9.21>

- ・転換期にある「依存」業界
- ・西村直之代表のちょっとレクチャー「ラスベガスでの視察から」
- ・インタビュー丈幻(現役パチプロ・パチンコ研究家)「パチプロとして提案したいパチンコ・パチスロ 依存問題対策」
- ・厚労省の全国調査について

安心娯楽通信 URL <http://RSN-sakura.jp/anshingorakutsushin.html>

5) 日遊協 PT 活動、自己申告プログラムについて

自己申告プログラムに関連するステッカー、リーフレット、マニュアルなどの草案について情報を交換した。自己申告・家族申告プログラム申込書は、時間、回数、金額については共通申込用紙となる。貯玉システムを入れない店舗用に時間だけの申込用紙、後は家族申告の申込用紙と同意書となっている。また、申込み書やポスターなどで、対応プログラムを選択できれば良いとの意見が出た。また、導入状況、今後の導入予定、自己申告プログラムの申請数などについて情報を共有した。

6) まとめ

- ・安心パチンコスロットアドバイザーの充足率などを材料に非組合店舗への対応を全日遊連に交渉する。

7) 次回開催

平成 29 年 11 月 25 日（木）
午前 9 時 30 分～12 時
PCSA 会議室

以上